



さいがわ
犀川大橋の写真展を開催します。

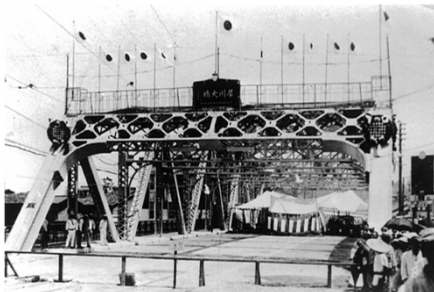
- 国道157号 ^{かなざわ かたまち}金沢市片町地先に架かる長寿橋「犀川大橋」(今年で94歳)の過去・現在の姿を記録し、後世に伝えていくための写真展を開催します。
- 名称:写真展 犀川大橋の過去～現在～未来 (別添参照)
- 会場・日時: 第1段 北國新聞赤羽ホール(交流ホール・エントランスホール)
 平成30年3月4日(日)～3月6日(火) 9時～17時
 第2段 片町きらら広場
 平成30年3月9日(金)～3月11日(日) 11時～20時
 第3段 金沢市役所2階市民ホール
 平成30年3月19日(月)～3月20日(火)9時～17時 及び
 平成30年3月22日(木)～3月23日(金)9時～17時



■パネル展特設サイトはこちら

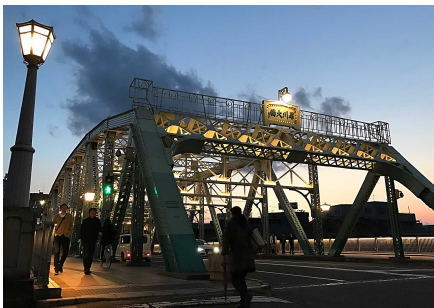
<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/road/saigawa/index.html>

・「犀川大橋」とは



大正13年に竣工し、今年で94歳を迎える犀川大橋は、1日3万台以上の自動車交通や歩行者交通を支える金沢都心軸の要衝であり、平成12年には国登録有形文化財に指定されるなど、まちなかのシンボルとなっています。最近では、金沢片町まちづくり会議との協働によるライトアップや「サイガワあかりテラス」、「犀川リバーカフェ」等を展開し、多くの市民や来街者から注目を集めています。

・長寿橋「犀川大橋」に見るインフラメンテナンス



国内有数の長寿橋であることから、維持管理の面では多くの課題を有しており、平成28年度に実施した点検結果では、早急に対処すべき損傷箇所が発見されており、平成30年4月以降には、交通規制を伴う補修工事を進めていく予定です。全国約73万橋の道路橋のうち、「犀川大橋」のように建設から50年を経過した橋は、約23%あり、10年後には約48%まで急増します。そのため、国土交通省では、全ての橋を5年に1度点検し、必要に応じて補修工事を行うなど、計画的な維持管理による「橋の長寿命化」を推進しています。

お問い合わせ先

金沢河川国道事務所 道路管理第二課長 なかた ひかる
^{かなざわ さいねん}
 住所 : 金沢市西念4丁目23番5号 中田 光
 電話 : 076-264-9918(道路管理第二課直通)
 FAX : 076-233-9632

犀川大橋

～The Oldest Warren Truss Bridge in Japan～
犀川大橋の長寿を祝い、インフラメンテナンスへの
関心を持っていただくため写真展を開催いたします。



入場無料

写真展「犀川大橋の過去～現在～未来」

第1段 北國新聞赤羽ホール（交流ホール・エントランスホール）
平成30年3月4日(日)～平成30年3月6日(火) 9:00～17:00

第2段 片町きらら広場
平成30年3月9日(金)～平成30年3月11日(日) 11:00～20:00

第3段 金沢市役所2階市民ホール
平成30年3月19日(月)～平成30年3月20日(火) 9:00～17:00
平成30年3月22日(木)～平成30年3月23日(金) 9:00～17:00

写真をご提供していただいた皆様、誠にありがとうございました。
写真展展示以外の応募写真は以下特設サイトよりご覧いただけます。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/road/saigawa/index.html>



主催：国土交通省 金沢河川国道事務所
後援：北國新聞社

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所
〒920-8648 金沢市西念4-23-5
TEL:076-264-8800（代表）